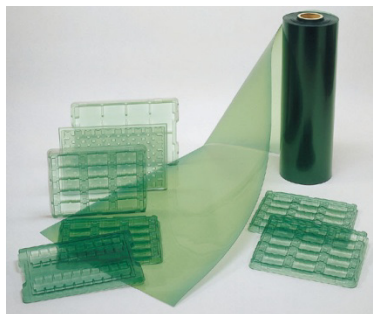


導電性高分子ポリアニリンに関する研究

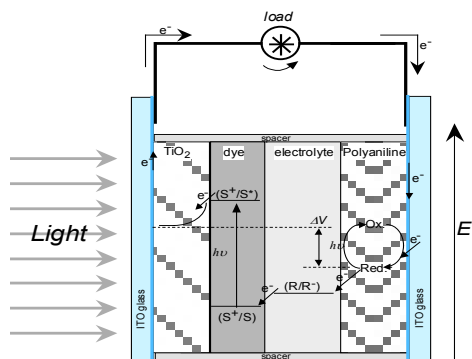
キーワード[導電性高分子, 機能性高分子, 生体模倣化学]

教授 倉本 憲幸

(1) マルアイにて帯電防止トレイSCS-NEOとして商品化



(2) 湿式太陽電池 (Grätzel Cell) への応用



(3) 山形大、有機溶剤に溶ける高導電性高分子ポリアニリンを開発

2005/8/8

日経BP社

内容:

ポリアニリンに関する研究

- (1) 加工性の良好なポリアニリンの合成
- アニリンの界面活性剤塩を重合し、加工性良好で他の高分子と混和し低い含有量で導電性を発現する導電膜の合成に成功した。(マルアイにて帯電防止トレイSCS-NEOとして商品化)
- (2) 湿式太陽電池 (Grätzel Cell) への応用
- 二酸化チタン電極とポリアニリンを対極にして組み合わせることで、簡便で光電変換特性を有する湿式太陽電池 (Grätzel Cell) を作製した。
- (3) 有機溶媒可溶性で高導電率ポリアニリンの合成
- 種々の有機溶媒に可溶で、かつ5百ジーメンス以上の世界最高レベルの高導電性ポリアニリンを合成した。(日経BP社)

分野: 機能高分子工学

専門: 導電性高分子、機能性高分子、生体模倣化学

E-mail : kuramoto@yz.yamagata-u.ac.jp

Tel : 0238-26-3051

Fax : 0238-26-3051

HP: <http://cmk.yz.yamagata-u.ac.jp>